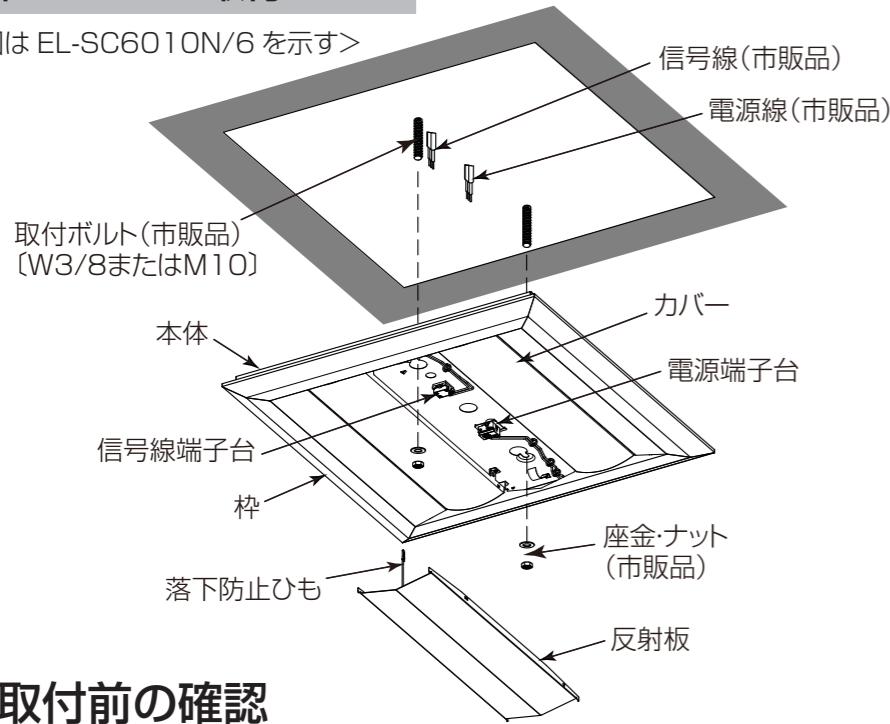


各部のなまえと取付けた

<下図は EL-SC6010N/6 を示す>



1 取付前の確認

○灯具を含む器具質量 (約7.4kg) の10倍以上 (1ヶ所あたり) に耐えるよう、器具取付部の強度を確保する。

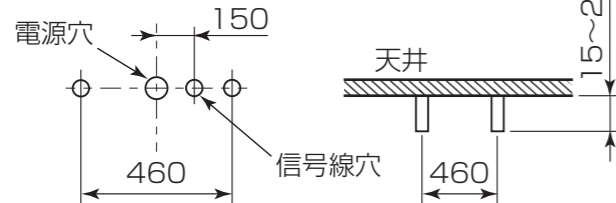
- ・取付ボルトを使用の場合は、W 3/8 または M 10 を使用する。

警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)

2 天井に取付用穴をあける

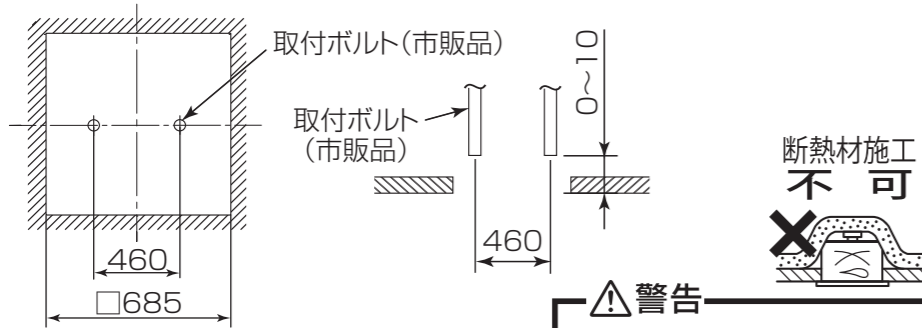
<施工ボルトの出しろ (単位mm)>

【直付施工の場合】



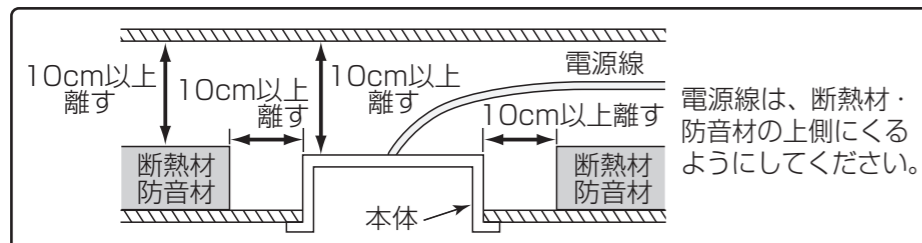
【埋込施工の場合】

- 埋込穴、取付ボルトを図のように用意する。
- 埋込の場合：天井切込穴 □685mm



警告
断熱施工天井に取付けない (火災の原因)

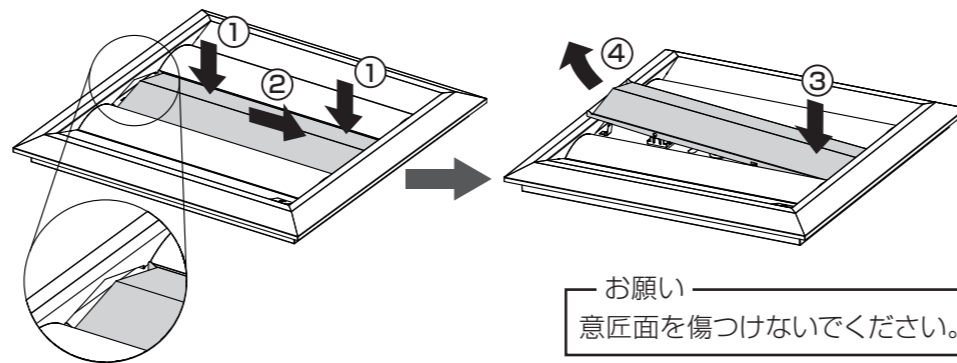
断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。



3 反射板を取外す

○反射板を下記の手順で取外す。

- ①反射板の両端を垂直に押し込む。
- ②押し込んだまま水平方向にスライドさせる。
- ③片側を押し込んだまま、反対側を持ち上げる。
- ④意匠面を傷つけないよう、気をつけながら反射板を抜き取る。

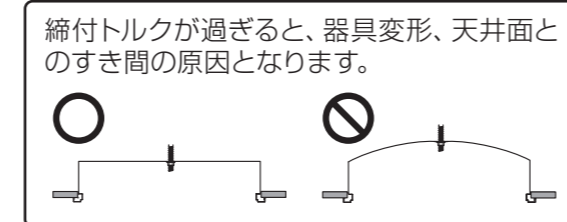


注意
器具の取付け・取外し・清掃時は手袋などの保護具を使用する (けがの原因)

お願い
意匠面を傷つけないでください。

4 本体を取付ボルトに取付ける

- (1) 電源線・アース線・信号線を器具本体のブッシュ付電源穴・信号線用穴から引き込んでおく。
- (2) 本体を取付ボルトに取付け、ゆるみ止め施工を確実に進行。(ゆるみ止め：ダブルナット・歯付座金など) ナットの締付トルクは0.7~1.0 N・mです。



- (3) 取付ボルトが器具取付面と垂直であることを確認する。(右図)

警告
取付けが不完全な場合落下の原因

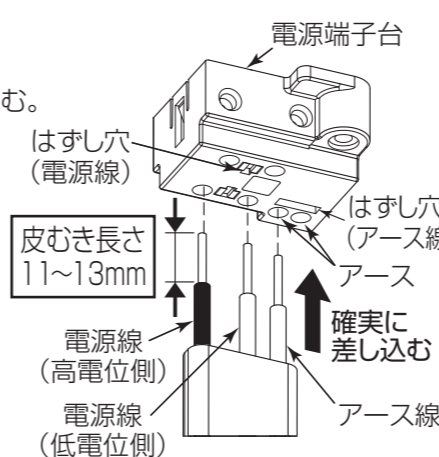
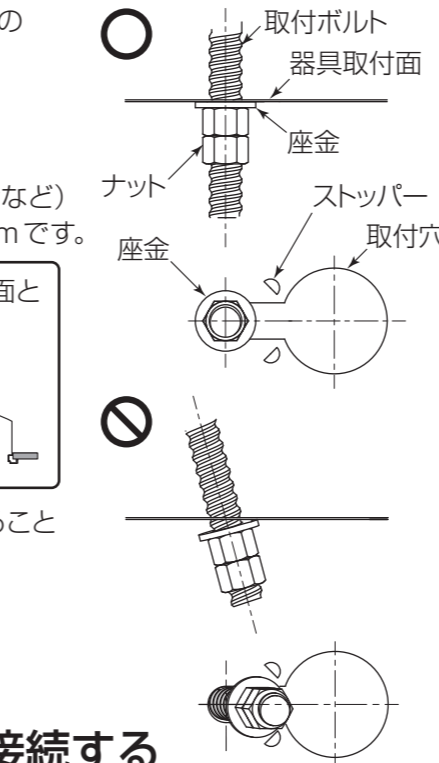
5 電源線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
- (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

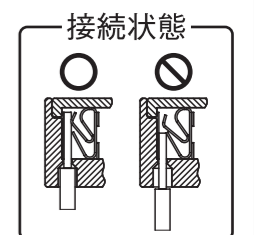
警告
・接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因
・アース工事は電気設備の技術基準に従い行う (アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

< D 種 (第3種) 接地工事が必要です >

- 電源端子台の容量は 20A です
- 適合引込み電源線：φ 1.6mm VVF 単線 または φ 2.0mm VVF 単線

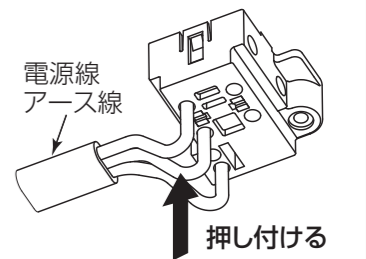


警告
・送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)
・電源の接続は適合太さの電源線の被覆を指定長さにおむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)



- (3) 電源線 (アース線) の挿入部は反射板との当たりを防ぐため電源端子台に押し付けるように小さく曲げる。

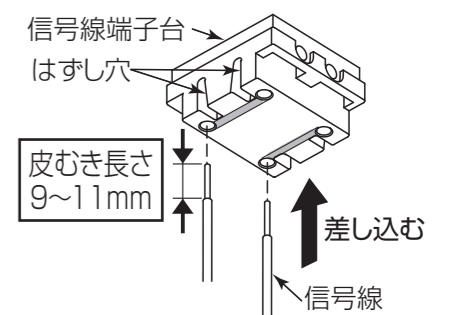
- 電源端子台に接続された電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに差し込んでください。



6 信号線を信号線端子台に接続する

- 信号線を信号線端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
- 適合引込み信号線 φ 0.9mm FCPEV-1P 単線 または φ 1.2mm FCPEV-1P 単線
- 接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。

- 信号線端子台に接続された信号線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに差し込んでください。

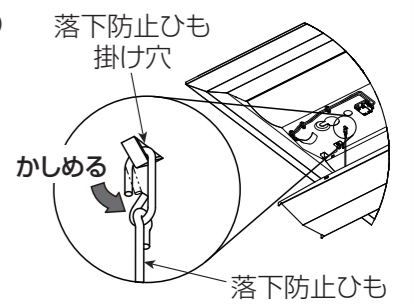


警告
信号線端子台には電源線を接続しない (過熱・損傷し火災の原因)

7 落下防止ひもを取付ける

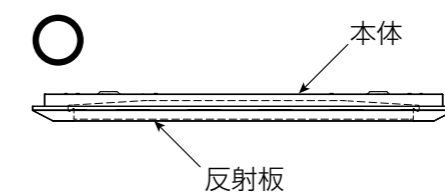
- 落下防止ひもの先を本体天井の落下防止ひも掛け穴に通し、かしめる。(1ヶ所)

警告
取付けが不完全な場合落下の原因

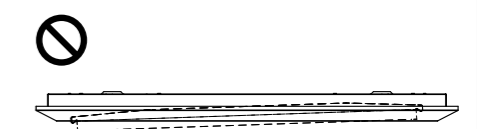


8 反射板を取付ける

- 「3 反射板を取外す」の逆の手順で反射板を取付ける。



警告
取付けが不完全な場合落下の原因



お願い
意匠面を傷つけないでください。

9 モードの動作説明

- 本器具は壁スイッチ操作により点灯モードを「全光モード」→「節電モード」の2段階に切り替えることが可能です。点灯モード切替のご注意は、別紙『E770Z449』を参照してください。

点灯モード切替のご注意

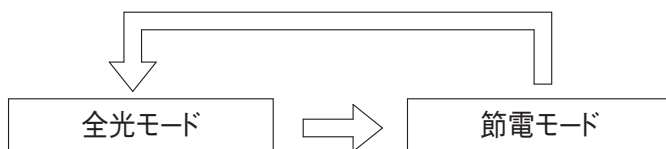
(全光モード ⇄ 節電モード)

本器具は、壁スイッチ操作または、調光信号の制御により器具の点灯モードを切替えることができます。

- ・ 全光モード
- ・ 節電モード (全光モードの約 70%の光束)

1 器具取付後の点灯モード設定

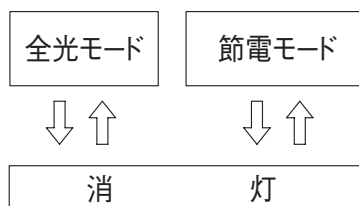
- 出荷時は全光モードに設定しています。
- 点灯モード設定を切替える場合は、消灯状態で壁スイッチの ON - OFF 操作を 3 回繰り返してください。
※ 壁スイッチの操作は、ON (1 ~ 2 秒) - OFF (1 ~ 2 秒) の間で行ってください。
※ ON - OFF 操作を繰り返した後は、最後の OFF から 2 秒以内に電源を ON して、5 秒以上点灯させてください。
- ※ 調光信号の制御にて切替える場合は、調光信号の ON - OFF 操作にて行ってください。



- 点灯モード切替完了のお知らせ (明るさの変化によりお知らせします。)
 - ・ 全光モード：明るさが 1 回変化します。
 - ・ 節電モード：明るさが 2 回変化します。

2 メモリー機能

- 消灯時の点灯モードを記憶しています。
再点灯時は、消灯前の点灯モードで点灯します。



3 リセット操作

- 器具間の点灯モードが揃わない場合は、一度リセットを実施してください。
- リセットを実施する場合は、消灯状態で壁スイッチの ON - OFF 操作を 4 回繰り返してください。
いずれの点灯モードからも全光モードへリセットされます。
※ 壁スイッチの操作は、ON (1 ~ 2 秒) - OFF (1 ~ 2 秒) の間で行ってください。
※ ON - OFF 操作を繰り返した後は、最後の OFF から 2 秒以内に電源を ON して、5 秒以上点灯させてください。
- ※ 調光信号の制御にて切替える場合は、調光信号の ON - OFF 操作にて行ってください。
- リセット操作の完了は、明るさの変化によりお知らせします。
リセット操作後に明るさが 1 回変化すればリセット完了となり全光モードでの点灯状態を維持します。

4 点灯モードの確認

- 点灯モードの確認をする場合は、消灯状態で壁スイッチの ON - OFF 操作を 2 回繰り返してください。
※ 壁スイッチの操作は、ON (1 ~ 2 秒) - OFF (1 ~ 2 秒) の間で行ってください。
※ ON - OFF 操作を繰り返した後は、最後の OFF から 2 秒以内に電源を ON して、5 秒以上点灯させてください。
- ※ 調光信号の制御にて切替える場合は、調光信号の ON - OFF 操作にて行ってください。
 - ・ 全光モードの設定時：明るさが 1 回変化します。
 - ・ 節電モード設定時：明るさが 2 回変化します。